

### 第3回 清水港カーボンニュートラルポート協議会 議事概要

日時：令和4年7月4日（月）14：00～15：30

開催形式：対面及びWEB形式

#### 【議事概要】

##### ○ 事務局からの報告

- ・近年の清水港を取り巻く環境の変化として、清水港長期構想や港湾計画改訂から、港湾空間利用の基本的な方向性を紹介。その上で、県及び市が ENEOS(株)と基本合意書を締結した、清水区袖師地区を中心とした次世代型エネルギーの推進と地域づくりの動きを紹介するとともに、港湾において温室効果ガスの排出を全体としてゼロを目指すカーボンニュートラルポートについて説明した。
- ・また、今年度策定予定である、清水港 CNP 形成計画の目的や主な検討項目、形成計画策定のフロー図など、進め方やスケジュールを説明。今後予定する構成員を含めた臨港地区周辺の企業に対するアンケート及びヒアリング調査等の協力依頼を行った。
- ・さらには、清水港 CNP 形成に向けた県の取り組みを紹介した。

##### ○ 構成員からの報告

- ・静岡市環境創造課寺田室長より、令和4年4月25日に国の「脱炭素先行地域」に選定されたことから、全体構想として、2030年までに目指す地域脱炭素等を踏まえた取り組みや実施スケジュール、推進体制について説明があった。
- ・選定を踏まえ、静岡市では全国に先駆け新たな脱炭素ビジネスを構築し、水平展開していくことで脱炭素ドミノの実現に貢献していく。

##### ○ 特別講演

- ・東海大学特別栄誉教授の内田裕久氏から、「変わる世界と日本のエネルギー政策 - 水素吸蔵合金の超省エネ陸上養殖他 - 」と題し、水素を取り巻く世界的な動きや日本のエネルギー政策等について、講演いただいた。
- ・特に、CO<sub>2</sub>を原料にH<sub>2</sub>と反応させ燃料や新物質を創生するカーボンリサイクルの考え方や、水素貯蔵と利用技術において、低圧かつ室温で長期間保存可能、排熱を利用できる水素吸蔵合金が、CO<sub>2</sub>削減効果に寄与するため、大きく省エネ効果があるとの説明があった。
- ・事例紹介として、水素と排熱利用のイチゴ栽培・陸上養殖への応用や、水素吸入療法による先進医療への取り組みを紹介するとともに、静岡県清水港周辺において、地域固有の水素利用を検討すべきとの提言があった。